平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月27日

上場会社名　サイオステクノロジー株式会社　　上場取引所　東
コード番号　3744　URL　http://www.sios.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 喜多　伸夫
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員　(氏名) 小林　徳太郎　TEL 03-6860-5105

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	2,980	21.3	△0	―	△2	―	△45	―
23年12月期第2四半期	2,457	△1.4	△158	―	△159	―	△167	―

(注)包括利益　24年12月期第2四半期　△40百万円　(―%)　23年12月期第2四半期　△170百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	△521.55	―
23年12月期第2四半期	△1,936.67	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	2,884	1,385	48.0
23年12月期	2,775	1,447	51.1

(参考) 自己資本　24年12月期第2四半期　1,383百万円　23年12月期　1,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
24年12月期	―	0.00			
24年12月期(予想)			―	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	13.5	50	―	50	―	0	―	0.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期2Q	88,744 株	23年12月期	88,744 株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	2,040 株	23年12月期	2,040 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期2Q	86,704 株	23年12月期2Q	86,704 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
（４）追加情報 …… 5
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 5
４．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書 …… 8
四半期連結包括利益計算書 …… 9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書……10
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 12
（５）セグメント情報等 …… 12
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 13
（７）重要な後発事象 …… 13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

＜当第２四半期連結累計期間の概況＞

当第２四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、長引く円高や欧州の債務危機等により依然として先行き不透明な状況ではあるものの、国内景気は緩やかに持ち直しの傾向が見られます。

このような中、当社グループは、ITを通じて顧客企業のコスト削減や競争力強化を実現すべく、引き続き高い市場成長が継続しているクラウドコンピューティング(*1)（以下、「クラウド」）や、従来からの強みであるオープンソースソフトウェア(*2)（以下、「OSS」）に関連する領域での活動を推進してきました。

各セグメントの業績は、以下のとおりの結果となりました。

①オープンシステム基盤事業

当事業においては、引き続き営業・技術・マーケティングの各機能を強化しており、「LifeKeeper」(*3)の新規案件獲得が堅調に推移しました。また、「Red Hat Enterprise Linux」(*4)は、旧製品の減収影響があるものの、現行製品の新規受注金額は堅調に推移しました。これらにより、売上高は2,109百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益は61百万円（前年同期はセグメント損失57百万円）となりました。

②Webアプリケーション事業

当事業においては、クラウド分野の製品・サービスや、MFP関連ソリューション(*5)の提供が順調に伸長しており、収益への貢献が見られました。これらに加え、第１四半期にはクラウドを活用したシステム導入支援における案件獲得及び納品が順調に推移し、当第２四半期連結累計期間における増収、かつ損失額の縮小に寄与しました。これらにより、売上高は871百万円（前年同期比52.1%増）、セグメント損失は61百万円（前年同期はセグメント損失100百万円）となりました。

これらにより、当第２四半期連結累計期間における売上高は2,980百万円（前年同期比21.3%増）、営業損失は０百万円（前年同期は営業損失158百万円）、経常損失は２百万円（前年同期は経常損失159百万円）となりました。また、特別利益として新株予約権戻入益15百万円、事業譲渡益12百万円の計上、並びにサイオステクノロジー単体の利益向上に伴い、法人税、住民税及び事業税等74百万円を計上したこと等により、四半期純損失は45百万円（前年同期は四半期純損失167百万円）となりました。なお、当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却費）は146百万円（前年同期は２百万円のマイナス）となりました。

(*1) クラウドコンピューティング
コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

(*2) オープンソースソフトウェア
ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。

(*3) LifeKeeper
米国子会社SIOS Technology Corp. （旧SteelEye Technology, Inc.）の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引

き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。

(*4) Red Hat Enterprise Linux

世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。

(*5) MFP関連ソリューション

MFP(Multi Function Peripheralの略、1台でプリンタ、スキャナー、コピー、FAXなどの機能を兼ねる機器など複数の機能を搭載した複合的な周辺機器のこと。)上で操作できる文書管理ソフト「Quickスキャン」等。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

＜当第２四半期連結会計期間の概況＞

①資産

流動資産は、現金及び預金の増加279百万円、売掛金の減少91百万円等の要因により、2,518百万円（前連結会計年度末比8.5%増）となりました。

固定資産は、のれんの減少76百万円等の要因により、365百万円（同19.7%減）となりました。

この結果、総資産は、2,884百万円（同3.9%増）となりました。

②負債

流動負債は、買掛金の増加13百万円、未払法人税等の増加37百万円、前受金の増加71百万円等の要因により、1,388百万円（前連結会計年度末比13.9%増）となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加４百万円等の要因により、110百万円（同1.0%増）となりました。

この結果、負債合計は、1,498百万円（同12.8%増）となりました。

③純資産

純資産合計は、当四半期において四半期純損失45百万円を計上したこと等の要因により、1,385百万円（前連結会計年度末比4.3%減）となりました。なお、平成24年３月22日に開催した第15期定時株主総会で決議された「資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分」が同年３月31日に効力を生じたことから、資本剰余金が389百万円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

＜キャッシュ・フローの状況＞

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ279百万円増加し1,460百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

のれん償却額118百万円、売上債権の減少額93百万円、前受金の増加額67百万円、法人税等支払額35百万円等の要因により、営業活動により得られた資金は315百万円（前年同期は81百万円の獲得）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

事業譲受による支出23百万円、子会社株式の取得による支出25百万円等の要因により、投資活動により使用した資金は41百万円（前年同期は８百万円の使用）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

リース債務の返済による支出５百万円等の要因により、財務活動により使用した資金は２百万円（前年同期は138百万円の使用）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の業績動向等を踏まえ、平成24年１月31日に公表した平成24年12月期通期の連結業績予想（以下、前回予想）を平成24年７月25日において修正しました。

平成24年12月期通期においては、当第２四半期連結累計期間の売上高が前回予想を上回ったこと、「LifeKeeper」や「Red Hat Enterprise Linux」が第３四半期以降も堅調な売上を見込めることから、通期連結業績予想の売上高を5,800百万円（前回予想比9.4％増）へ修正しました。

一方、売上原価や販売費及び一般管理費においては、クラウドやOSSに関連する既存ビジネス拡大、及びスマートフォン、SNS(*6)を活用した新たなビジネス創出に向けた研究開発や営業・マーケティングに係るコストが増加する見込みです。これらにより、営業利益は50百万円（前回予想比150.0％増）、経常利益は50百万円（前回予想比150.0％増）、当期純利益は０百万円（前回予想は当期純損失20百万円）へ前回予想を修正しました。

(*6) SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

Social Networking Serviceの略。インターネット上での社会的つながりを促進・サポートするサービス。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24条　平成21年12月４日）を適用しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,180,418	1,460,204
受取手形及び売掛金	694,745	603,662
商品及び製品	764	150
仕掛品	29,349	25,459
原材料及び貯蔵品	277	277
繰延税金資産	13,068	13,364
前渡金	333,217	345,530
その他	80,281	78,665
貸倒引当金	△11,034	△8,514
流動資産合計	2,321,088	2,518,803
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	36,158	32,515
その他（純額）	39,247	37,191
有形固定資産合計	75,405	69,707
無形固定資産		
のれん	121,230	44,276
その他	69,658	61,751
無形固定資産合計	190,889	106,028
投資その他の資産		
投資有価証券	5,000	5,000
差入保証金	181,543	181,441
その他	1,879	3,160
投資その他の資産合計	188,423	189,602
固定資産合計	454,718	365,337
資産合計	2,775,806	2,884,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年６月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	241,559	255,546
1年内返済予定の長期借入金	2,100	2,100
未払法人税等	41,609	79,518
前受金	757,231	829,218
引当金	―	2,140
その他	176,759	219,574
流動負債合計	1,219,260	1,388,098
固定負債		
長期借入金	7,700	6,650
退職給付引当金	95,984	99,993
その他	5,827	3,965
固定負債合計	109,512	110,608
負債合計	1,328,772	1,498,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	861,305	472,108
利益剰余金	△477,258	△133,282
自己株式	△48,995	△48,995
株主資本合計	1,816,571	1,771,350
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△397,012	△387,573
その他の包括利益累計額合計	△397,012	△387,573
新株予約権	15,591	1,396
少数株主持分	11,882	260
純資産合計	1,447,033	1,385,433
負債純資産合計	2,775,806	2,884,140

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）
売上高	2,457,703	2,980,511
売上原価	1,564,739	1,794,271
売上総利益	892,963	1,186,239
販売費及び一般管理費	1,050,998	1,186,847
営業損失（△）	△158,034	△607
営業外収益		
受取利息	580	630
還付加算金	851	－
その他	142	600
営業外収益合計	1,573	1,231
営業外費用		
支払利息	1,060	239
為替差損	2,440	2,726
消費税等調整額	－	589
その他	0	－
営業外費用合計	3,500	3,555
経常損失（△）	△159,961	△2,932
特別利益		
新株予約権戻入益	－	15,591
事業譲渡益	－	12,227
その他	－	16
特別利益合計	－	27,834
特別損失		
固定資産除却損	209	270
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,550	－
特別損失合計	1,759	270
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△161,721	24,630
法人税、住民税及び事業税	7,403	74,495
法人税等調整額	△2,440	△296
法人税等合計	4,963	74,199
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△166,685	△49,568
少数株主利益又は少数株主損失（△）	1,231	△4,347
四半期純損失（△）	△167,916	△45,220

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成23年１月１日 至 平成23年６月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△166,685	△49,568
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,807	9,438
その他の包括利益合計	△3,807	9,438
四半期包括利益	△170,493	△40,130
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△171,724	△35,782
少数株主に係る四半期包括利益	1,231	△4,347

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△161,721	24,630
減価償却費	29,440	27,700
権利金償却費	7,028	23
のれん償却額	119,101	118,927
貸倒引当金の増減額（△は減少）	60	△2,520
受取利息及び受取配当金	△580	△630
支払利息	1,060	239
固定資産除却損	209	270
新株予約権戻入益	－	△15,591
事業譲渡損益（△は益）	－	△12,227
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,550	－
売上債権の増減額（△は増加）	89,920	93,039
たな卸資産の増減額（△は増加）	△772	3,897
仕入債務の増減額（△は減少）	△53,087	14,010
退職給付引当金の増減額（△は減少）	5,220	4,008
前受金の増減額（△は減少）	△27,543	67,595
前渡金の増減額（△は増加）	83,082	△12,310
未払消費税等の増減額（△は減少）	△9,606	3,781
その他	△23,102	35,535
小計	60,259	350,383
利息及び配当金の受取額	580	630
利息の支払額	△1,161	△221
法人税等の還付額	31,291	－
法人税等の支払額	△9,563	△35,751
営業活動によるキャッシュ・フロー	81,405	315,040
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,959	△4,722
無形固定資産の取得による支出	△7,683	△31
長期前払費用の取得による支出	－	△350
差入保証金の差入による支出	△339	△215
差入保証金の回収による収入	－	179
事業譲受による支出	－	△23,486
事業譲渡による収入	－	12,988
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	4,000	－
子会社株式の取得による支出	－	△25,500
その他	△232	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,214	△41,138

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△125,000	△1,050
リース債務の返済による支出	△13,392	△5,801
新株予約権の発行による収入	－	1,396
新株予約権の行使による株式の発行による収入	－	2,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138,392	△2,955
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,750	8,839
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△68,952	279,786
現金及び現金同等物の期首残高	1,125,195	1,180,418
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,056,242	1,460,204

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	オープンシステム基盤事業	Webアプリケーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,884,847	572,855	2,457,703	―	2,457,703
セグメント間の内部売上高又は振替高	840	―	840	△840	―
計	1,885,687	572,855	2,458,543	△840	2,457,703
セグメント損失（△）	△57,334	△100,700	△158,034	―	△158,034

(注) セグメント損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報（売上高）を開示しております。

売上高

前第２四半期連結累計期間(自　平成23年１月１日　至　平成23年６月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
2,297,660	89,249	43,818	26,975	2,457,703

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	オープンシステム基盤事業	Webアプリケーション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,109,170	871,340	2,980,511	―	2,980,511
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―
計	2,109,170	871,340	2,980,511	―	2,980,511
セグメント利益又は損失（△）	61,090	△61,698	△607	―	△607

(注) セグメント利益又は損失（△）の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(参考情報)

地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報（売上高）を開示しております。

売上高

当第２四半期連結累計期間(自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
2,793,219	107,786	54,105	25,399	2,980,511

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。